

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 29日

東京都知事 殿

提出者

住 所 大阪府堺市堺区戎之町東3-1-27

氏 名 株式会社プライムエコ  
代表取締役 北野 正明

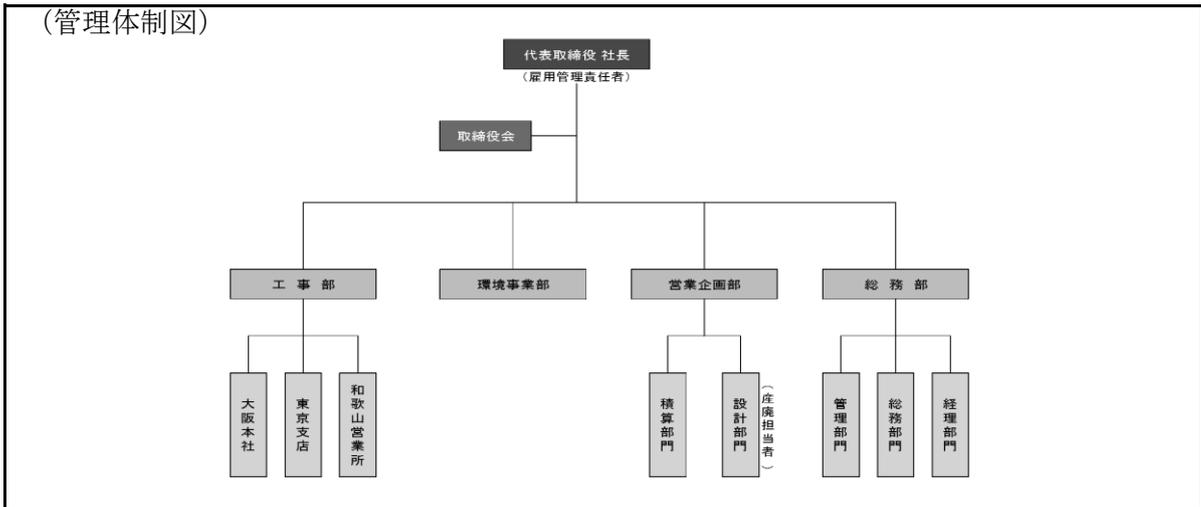
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-225-5507

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(仮称)ESR東久留米計画に伴う既存建物解体工事	
事業場の所在地	東京都東久留米市南沢4丁目9番地	
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	総合工事業	
②事業の規模	元請完成工事高 円(令和4年度実績)	
③従業員数	50人	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→脱水→焼却→再利用・最終処分 廃アルカリ→濃縮・生物処理→再利用 木くず→破碎→再利用 ガラス陶磁器及びコンクリートくず→破碎・圧縮→再利用・最終処分 がれき類→破碎→再利用 混合廃棄物→選別・破碎→再利用・最終処分 ガラス陶磁器(石綿含有建材)→最終処分 がれき類(石綿含有建材)→最終処分 蛍光灯→破碎・洗浄・分解・回収→再利用 廃油→油水分離→再利用 廃プラ→破碎・圧縮→再利用 生木→破碎→再利用 アスファルトがら→破碎→再利用 廃プラ(石綿含有建材)→最終処分 廃石綿→最終処分	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	排出量	4.00 t	2.10 t
	(これまでに実施した取組) ○工事で発生する産業廃棄物の排出を極力抑制する様、施工検討会を実施し現場へ反映した。 ○金属くずは有価売却処分を実施した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	排出量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ○実施した取り組みを維持し、さらに強化する。 ○産業廃棄物の発生量を抑制した施工計画を推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ○工事の規模・工期等の条件に合わせて、可能な限り分別を実施した。 ○品目毎にコンテナへ集積した。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ○実施した取り組みを維持し、現場作業員への徹底を図る。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和4年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず
排出量	0.40 t	110.00 t	382.80 t	133.10 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず
排出量	- t	10.00 t	20.00 t	5.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
<b>【前年度（令和4年度）実績】</b>				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光灯類
排 出 量	8.80 t	113.00 t	740.30 t	0.90 t
<b>【目標】</b>				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光灯類
排 出 量	300.00 t	20.00 t	- t	- t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
<b>【前年度（令和4年度）実績】</b>				
産業廃棄物の種類	コンクリート片			
排出量	32,379.60 t	- t	- t	- t
<b>【目標】</b>				
産業廃棄物の種類	コンクリート片			
排出量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ○コンガラの自ら利用の推進。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） ○建設汚泥やがれき類の自ら利用の推進を図る。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
（これまでに実施した取組） ○実施した取り組みはない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
（今後実施する予定の取組） ○実施する予定の取り組みはない。			

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	32,379.60 t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ○実施した取り組みはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） ○実施する予定の取り組みはない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	全処理委託量	4.00 t	2.10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.00 t	2.10 t
	再生利用業者への処理委託量	- t	2.10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.00 t	- t
（これまでに実施した取組） ○出来る限り再生利用業者を選定し、処理を委託した。 ○優良認定処理業者へ優先的に処理を委託した。 ○電子マニフェスト利用業者へ優先的に処理を委託した。			

## (第4面) - 2

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	0.40 t	110.00 t	382.80 t	133.10 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.40 t	110.00 t	382.80 t	133.10 t
再生利用業者への 処理委託量	0.40 t	101.20 t	382.80 t	79.90 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

## (第4面) - 3

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	8.80 t	113.00 t	740.30 t	0.90 t
優良認定処理業者 への処理委託量	8.80 t	113.00 t	622.00 t	0.90 t
再生利用業者への 処理委託量	8.80 t	91.60 t	- t	0.90 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

## (第4面) - 4

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片			
全処理委託量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第5面)

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油
	全処理委託量	- t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ○実施した取り組みを引き続き行い、再生利用業者への委託を推進する。 ○最終処分量の低減を図る。		
※事務処理欄			

## (第5面) - 2

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	- t	10.00 t	20.00 t	5.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	10.00 t	20.00 t	5.00 t
再生利用業者への処理委託量	- t	9.20 t	20.00 t	3.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

## (第5面) - 3

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	300.00 t	20.00 t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	300.00 t	20.00 t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	300.00 t	16.20 t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片			
全処理委託量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。